

平成28年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立山崎高等学校				基 本 情 報	進路実績	42%	短期大学	10%	専門学校	38%	就職	5.80%	その他	4.20%									
		学習・行事・部活 すべての体験から進路実現へ 生徒会・部活等による地域でコラボレーション						特徴	3年間の系統的キャリア教育の推進、人生の目標としての進路実現を目指す。 アーチェリー部、ダンス部、サッカー部、バスケットボール部、硬式テニス部、硬式野球部、ソフトボール部、体操部、水泳部、ハンドボール部、吹奏楽部等																
								主な部活動																	
								学校評価	学校生活は楽しく充実している 82%、文化祭・体育祭は積極的に参加 85%																
基 本 情 報	所在地	〒195-0074 町田市山崎町1453番地1				電話番号	042-792-2891				募集人員	★推薦：男子24名・女子22名★前期：男子88名・女子80名★後期：23名(男女枠なし)													
	アクセス	(1) 小田急線町田駅バスセンターから山崎団地行乗車、北2号下車3分 (2) 小田急線町田駅バスセンターから下山崎行乗車、山崎高校入口下車3分 (3) JR町田駅バスターミナルから山崎団地行乗車、北2号下車3分						入学者選抜																	
	学科	普通科						26年度入学生	推薦	男子	2.04	女子	2.41	27年度入学生	推薦	男子	1.83	女子	2.27	28年度入学生	推薦	男子	2.83	女子	2.77
	在籍生徒数	普通科 696名(男子362名・女子334名)						学力検査	男子	1.21	女子	1.15	男子	1.20	女子	1.00	男子	1.42	女子	1.34					
	教育課程の特徴	習熟度別授業(1年コミュニケーションⅠ、2年コミュニケーションⅡ、1年数学Ⅰ)、少人数編成授業(家庭基礎、体育)、3学期制						学力検査	男女	1.08	男女	1.56	男女	1.39											
	ホームページ	http://www.yamasaki-h.metro.tokyo.jp				自律経営推進予算 28年度(単位：万円)	2,135		その他の特徴	推薦(調査書点500点[評定]、作文点200点、面接点300点)前期(学力調査700点[5教科]、調査書300点[評定]、後期(学力検査600点[3教科]、調査書400点[評定]、面接300点)															
	その他	オリンピック・パラリンピック教育重点校、日本の伝統文化教育推進校、情報モラル推進校、スポーツ特別強化校(アーチェリー)						制服	男子：紺・グレー 女子：紺・チェック		主な学校行事	体育祭、文化祭、マラソン大会													
	目指す学校	①基礎・基本を重視し、生涯にわたり学習する意欲と態度を育てると共に、思考力・判断力・表現力を育成するように教員の授業改善を推進する。②学校行事や部活動を含む全ての教育活動をととして、忍耐力、規範意識、公共心を養い、主体的に行動できる生徒を育成する。③豊かで平和な文化を創造する担い手として、社会の変化を適正に判断し、グローバル社会に貢献できる人間を育成する。④地域との交流を深め、地域貢献をはじめ学校の特色ある活動を積極的に公開し、地域に根ざした開かれた学校にする。																							
	目 標 ①	今年度の重点目標 基礎学力の定着と言語活動を向上させる授業の推進 ・学力スタンダードに基づき、学力の組織的把握と指導方針の共通理解を図る。 ・アクティブ・ラーニング型授業の指導方法の工夫・改善に取り組み進路指導とも連携した言語活動の向上を目指す。						今年度の取組と自己評価 学力スタンダードについては、学力の到達度目標に基づき、定期考査等の生徒の学力分析を行い、教科間での補習等を実施し基礎学力の定着を図ってきた、今後、模試等の分析を踏まえながら、全校的に統一問題を一層推進してゆく。アクティブ・ラーニングの手法を用いた授業改善については、推進委員会を組織して、校内研修を実施し、取り組みを実践している教員の授業の方法を研究する機会を作るなど言語活動の向上を図った。また、外部の研究会、公開授業等への委員の積極的参加を促し情報提供してもらう機会を作った。今後、大学の入試問題の研究にも積極的に努め、進路指導と連携した言語活動の一層の向上を目指してゆく。																	
		3年間の系統的な進路指導と規範意識の育成 ・3年間のキャリア教育における系統的プログラムに基づきインターンシップ体験等による職業観の育成を図る。 ・「情報モラル・情報リテラシー」教育について、生徒が主体となって考える啓発活動や保護者と連携したルール作り等に取り組み規範意識を形成する。						・情報モラル推進校として、学校全体で主体的に考える授業の推進に取り組んだ。有識者講演会、「人間と社会」の「ネット時代」の単元での「スマホミーティング」やアンケートの実施、保護者との合同ミーティング、学校ルールの校内発表、啓発活動、小学校へへの出前スマホミーティング等の取り組みによって、情報モラルについて意識する生徒が82%に上り、規範意識の形成に寄与した。 ・「人間と社会」においては、国際ロータリークラブとの連携によるインターンシップの1年生の全身体験を実施した。進路ガイダンス等も3年間の系統的取り組みを実施し、80%以上の生徒が、進路実現に役立つという意識を持てるようになった。																	
目 標 ②	国際社会における地域貢献、おもてなしの心の育成 ・オリンピック・パラリンピック教育について体力向上や地域貢献活動、国際社会における異文化、伝統文化の理解を通して「おもてなしの心」を育成すると共に障害者理解を深める。						・オリンピック・パラリンピック教育では、パラリンピアンを招いて(銀メダルを獲得した本校の卒業生と車いすバスケットの選手)講演会、体験学習を行い、一人一種目の競技の調べ学習や体幹トレーニングによる体力向上の取り組みを実施。地域貢献活動での参加者は232名と増加し、小、中、高での連携した「あいさつ運動」の参加者も急増した。日本の伝統文化では、茶道・華道、書道の文化祭の実演発表、講演会等を実施。国際理解教育として「留学生は先生」で留学生の授業を通して異文化理解、日本の文化のすばらしさを再発見を体験させた。「おもてなし」講演会も実施し全体の取り組みを通してスポーツ志向や国際理解が身についた生徒が全体の80%近くを占めた。																		
目 標 ③																									
数 値 目 標	今年度の数値目標の内容						25年度		26年度		27年度		今年度		29年度	30年度	31年度								
							目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標								
	目標①	授業満足度 [授業満足度]					60%	61%	70%	66%	70%	70%	80%	72%	86%	87%	88%								
	目標②	26年度から進路希望達成率 [25年度まで部活動加入率(全校加入率、1年生は100%)]					75%	88%	90%	90%	92%	92%	94%	95%	96%	96%	96%								
目標③	26年度から地域貢献、思いやりの心の育成[25年度まで体育祭で得た達成感、努力・忍耐、信頼関係、自信の複数回答合計]					190%	189%	65%	60%	70%	77%	75%	77%	85%	86%	87%									